



議会だより



十八間蔵がアールブリュットの展示スペースに。
はじまりの美術館



氷河時代からの生き残り！
ミツガシワ（三櫛）

平成 26 年 6 月定例会

◆議会構成が変わりました	2
◆あらまし・議案審議	3
◆予算審査特別委員会	4
◆委員会提出議案	5
◆一般質問 7 人が登壇	6～12
◆請願・陳情・映像配信	13
◆委員会レポート	14～15
◆町民の声	16

福島県 耶麻郡 猪苗代町 字城南 100 番地
<http://www.town.inawashiro.fukushima.jp/>

議長・副議長改選・議会の構成かわる!!

議長に長沼一夫氏 副議長に佐藤光幸氏



議長
長沼一夫氏



副議長
佐藤光幸氏

就任あいさつ

このたび、議長に就任することになり所信の一端を申し上げます。東日本大震災ならびに原発事故から三年二ヶ月が経過しましたが、風評被害は払拭されず、町内の農林業や商工業、観光業等依然厳しい状況にあります。将来、過疎や少子高齢化対策、雇用の確保、産業基盤の充実安定等、本町が抱える様々な課題に対して、活かされた議会活動が求められていることから、議会と行政が一体となって町の振興発展に貢献すること町民皆様方のご期待に応え信頼される議会となるよう頑張る所存でありますので、議会に対しご支援、ご協力賜りますようお願い申し上げます。

あたらしい議会構成

文教厚生常任委員会

教育及び厚生に関する事項を所管します。

議長 長沼 一夫
副議長 佐藤 光幸

委員長 関沢 和人
副委員長 五十嵐ミエ子
委員 細貝 功人
委員 佐藤 悦夫
委員 渡部 博幸

議会運営委員会

総務・財務・企画・消防防災及び他の委員会に属さない事項を所管します。

委員長 渡辺真一郎
副委員長 穴沢 進
委員 長澤 博幸
委員 佐藤 悦夫
委員 山田 長平
委員 佐藤 光幸

経済建設常任委員会

土木・建築・上下水道・農林水産及び商工観光に関する事項を所管します。

委員長 佐藤 光幸
副委員長 金本久美子
委員 佐藤 悦夫
委員 細貝 功人
委員 佐藤 英一郎
委員 鈴木 武喜
委員 長沼 一夫

議会広報編集特別委員会

議会、だよりの編集・発行を行います。

委員長 佐藤 光幸
副委員長 金本久美子
委員 佐藤 悦夫
委員 細貝 功人
委員 佐藤 英一郎
委員 長澤 博幸

あらまし

6月定例会は2日から11日まで開催され、開会5日目に正副議長の辞職により、新たな正副議長が選ばれ、委員会の構成もかわりました。町長から提出された議案は専決処分の報告4件、平成25年度繰越明許費に係る報告1件、出資法人等に係る経営状況報告5件、専決処分の承認7件、平成26年度補正予算4件、条例の一部改正2件、基金廃止条例1件、財産の取得1件、契約の締結4件であり、すべて原案のとおり可決しました。一般質問は7人の議員により2日間にわたり行われました。また、委員会提出議案2件を審議し、全て原案のとおり可決しました。

【主な質疑】

《旧吾妻第2小学校屋内運動場耐震改修建築工事請負契約の締結について》

問 8964万円の工事の内容は。
答 昭和42年度に建設したものであり、今回、鉄骨管にのけるグレース、筋交いの設置、基礎の追加等の鉄骨構造の耐震化工事を行う。屋根材の撤去、葺き替え、屋根・壁にも筋交いが入る。床についても、コンクリート工事の部分もでてくるので、撤去して張りかえる工事が出てくる。ほとんど新しくし、工事を総合的にを行い、新耐震の構造基準に合致させる。

【平成26年度一般会計補正予算】

反対討論

【五十嵐ミエ子議員】
道の駅整備事業の設置場所について納得できない。優良農地であり保全すべき。新たに土地を求めてこの事業を進めるのではなく、大胆に見直し縮小すべき。

賛成討論

【鈴木 武喜議員】
今回の補正予算は、行政業務に関する予算、放射能対策による牧草の処理の予算、町民の福祉向上、既存の建物を有効利用する予算であり、議会の同意を得て進められている事業である道の駅の造成事業。町民の皆さんが町の活性化、復興に大きな期待をもって早く進めていただきたいという声が多い。1日でも早く事業を進めていただくことを希望し賛成。

【審議した議案と可決状況】

件名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	結果
	佐瀬 真	細貝 功人	佐藤 悦夫	佐藤 英一郎	長澤 博幸	金本久美子	渡辺真一郎	五十嵐ミエ子	後藤公男	渡部博幸	山田長平	関沢和人	鈴木武喜	穴沢進	佐藤光幸	長沼一夫	
平成26年度猪苗代町一般会計補正予算	○	○	×	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
財産の取得について (道の駅猪苗代建設用地の取得)	×	○	×	○	○	○	○	×	○	○	○	×	○	○	○	○	可決

上記以外の29議案については全会一致で可決しました。

※賛成は「○」、反対は「×」、議長は採決に加わらない。

【主な質疑】

財産の取得について

《道の駅猪苗代建設用地の取得》

問 取得価格の要因は。

答 不動産鑑定士の鑑定評価をいただいている。公共事業については不動産鑑定士以外は評価できない。

反対討論！

【佐瀬 真議員】

取得用地の中にはいつ使うかわからないヘリポートが含まれている。ドクターヘリしか降りられない用地はいらない。

【佐藤 悦夫議員】

道の駅事業単独のプラス面の話しは伺ったが、地域全体、特に民間への配慮がない。このまま事業化を進めてよいのか。

【五十嵐ニ子議員】

水田を潰し、道路を付け替えたリ、ヘリポートなど施設整備に10数億円もかかる大事業が本当によ

いものか疑問。景観そのものを壊すような、農地を潰してまでというのは疑問である。

賛成討論！

【鈴木 武喜議員】

町議会としては可決されているものであり、また可決の中にはヘリポート分も入っている。皆さんの了解を得ての財産取得である。

【金本 久美子議員】

道の駅の事業については再三、議会で討論し、全協でも逐一町当局より説明を受けた。全体的には道の駅事業ということで推進してきた。その流れでの用地取得。現時点での農家の方のご理解を得て仮契約まで進んだ。出来るだけ当初の目的である平成27年度中に完了し、道の駅ができるよう希望する。

【渡部 博幸議員】

長年の念願であった事業であり、町の活性化、ならびに地域農業の振興について事業を進めていただきたい。

した事業は高齢者就労社会参加促進事業であり、その差額の減額である。

ば終了するが、町道との取り付け道路が残っているので、終了は平成27年度になる。

《土木費》

問 道の駅事業の用地造成用河川土砂の採取・運搬工事請負費が計上

されているが、場所と時期と量は。

答 長瀬川の土砂を採取するよう河川管理者である福島県と現在協議

中であり、金曲・中小松周辺を予定している。量としては2万㎡弱で、今泉の非農用地に刈り置きをするまでの工事請負費となっている。

国民健康保険特別会計

補正予算

問 歳入は資産割が減ったことにより補正した内容なのか。

答 資産割が減少したことも含め、トータルして保険料を計算した結果、前年度の所得が伸びなかったこともあり減額補正となった。

予算審査特別委員会

議長を除く15人の委員で、平成26年度一般会計補正予算1件、平成26年度特別会計補正予算3件を審査しました。

平成26年度補正予算

【主な質疑】

一般会計

「歳出」

《総務費》

問 旧町立病院管理費工事請負費は入る団体が確定した中での金額か。また、工事の内容は。

答 現在合同事務所に入居している団体の意見を反映した内容となっている。3階部分を撤去し柱の耐震工事を行う。2階部分は大きめの部屋を作り、1階は利用団体に合わせて改修する。

問 旧町立病院管理費の経費については、工事請負費2574万8千円と繰越明許費の2億4千万円をあわせた金額が全てであるのか。

答 工事請負費は機械設備だけの工事請負費であり、本体工事と電気工事については、既に発注しており、備品についてはこれから検討していくので、補正等で対応することも考えられこれで全てではない。

《農林水産費》

問 畜産総務費の委託料4665万6千円の内容は。

答 平成23年度に刈り取りした牧草がラッピングして積上げた状態であったため、フレコンバックに梱包しなおし、一時仮置き場まで移動させるための委託料である。

問 赤埴林道の維持費はこの予算で全線を終了することができるのか。

答 この予算の中で、緊急を要する箇所について優先的に実施する。

《商工費》

問 緊急雇用創出基金98万5千円の減額の理由は。

答 不採択の事業は、保健福祉課で要望していた地域活動支援センター利用促進事業と窓口福祉行政サービス強化事業で、新たに申請

委員会提出議案

賛成全員可決

「福島県最低賃金の引き上げと早期発効を求める意見書の提出」

【提出者】 総務常任委員会

【内容】 福島県最低賃金について「日本再興戦略」、「経済財政運営と改革の基本方針」ならびに2010年に行われた「雇用戦略対話」の合意に沿った引き上げ等を図ることを要望する。

【提出先】 内閣総理大臣・厚生労働大臣・福島労働局長

「介護保険要支援者への介護保険給付の継続を求める意見書の提出」

【提出者】 文教厚生常任委員会

【内容】 要支援者に対する訪問介護、通所介護を地域支援事業に移行せず介護予防給付で行うことを要望する。

【提出先】 内閣総理大臣・厚生労働大臣

各種委員の推薦

人権擁護委員

任期満了につき、次の方々を推薦することに全員一致で同意。

佐藤 秀一氏（内 野）

六角 京子氏（金 曲）

星 恵子氏（新在家）

齋藤 裕子氏（六 角）

農業委員

任期満了につき、次の方々を推薦することに全員一致で同意。

金本久美子氏（神明町）

丸山 之子氏（百目貫）



亀石（土津靈神之碑台座）



渡辺 真一郎 議員

Q. 新採用職員、新任課長の抱負を広報に載せては
A. 効果あるものと考え検討する

業務とは無関係なメールが受信
されていないか

【答弁】メールサーバーについては、平成23年度から強固な対策を講じており、無関係のメールが受信されることはほとんどない。

【渡辺】迷惑メール対策は役場独自のものか、企業ソフトか。

【答弁】独自のものではなく、国、県、市町村の対応運用ソフト。セキュリティについては、メーカーのソフトで対応している。

職員の採用・登用基準は

【渡辺】正職員の採用基準は。

【答弁】県町村会に委託し、全国統一試験日に競争試験を実施している。

競争試験は一次試験を筆記試験、二次試験を小論文試験及び面接試験により行い合格点以上を得た者を採用候補者名簿に登録し、上位の者から採用している。

【渡辺】採用職員のプロフィール、意気込み、新任課長の抱負を広報に掲載すべきでは。

【答弁】採用職員のモチベーションを高める上で効果があるものと考えており、他団体の取組みを参考にしながら検討する。

【渡辺】幹部職員への登用基準は。

【答弁】これまでの業績を評価し、適材適所に人事をしていきたいと考えており、女性職員の登用についても十二分に反映していきたい。

各課長の新年度目標の公表は

【渡辺】公表についての現状は。

【答弁】広報誌には掲載していないが、各課ごとに年度別に事業計画を立てて事業を実施。評価をして、次年度の目標を立てている。他町村の取組み等も参考にしながら検討する。

BCP（業務継続計画）の策定は

【渡辺】策定されていなければ必要と考えているか。

【答弁】策定の必要性については十分認識しており、策定にむけた研究を進めていきたい。

猪苗代の偉人学習は

【渡辺】野口英世などの猪苗代の偉人を学習することは学校で行われているか。

【答弁】各学校では教育目標や重点目標に野口博士の遺訓、目的、正直・忍耐を反映させている。又、博士の遺訓をもとに「猪苗代のこども私たちの誓い」を制定し各幼稚園、小中学校に配布しており、社会科の郷土の学習で行っている。保科正之・猪苗代兼載・友松勘十郎などの偉人については「わたしたちの郷土猪苗代町」により学習している。

《猪苗代のこども、私たちの誓い》

- 1 夢に向かって努力します（目的）
- 2 うそや、ごまかしはしません（正直）
- 3 くじけず、最後までがんばります（忍耐）
- 4 友だちや家族をいたわります
- 5 人の役に立つことをします
- 6 猪苗代に誇りを持ち、猪苗代を愛します

※「BCP」（Business Continuity Plan：業務継続計画）：大災害や事故などが発生した場合、主要な業務を継続させ、また早期に復旧させることを目的に、さまざまな観点から対策を講じる計画。



関澤 和人 議員

Q. 人口減少を喫緊の課題として考えているか
A. 自然豊かな環境を生かした施策を考えたい

人口減少への対策

【関澤】急激な人口減少の現況と対策は。

【答弁】毎年二百人くらいずつ減少しており、一万五千人を割込むのも時間の問題だと重くとらえている。

子育て支援としては幼稚園、保育所の時間外保育や延長保育。高校卒業までの医療費無料化などの生活環境面と文化面での整備をしてきたが、決定的な効果には至っていない。それらに加えこれからは豊かな自然環境のアピールと雇用の場の確保など定住・二地域居住の促進を図りたい。

【関澤】定住者の促進への具体的な案はどのようなことか。

【答弁】定住促進のためにホームページで町の魅力や住宅の情報を紹介している。今後も交流事業やイベントなどを通して交流人口を増やし、定住者の増加に取り組みたい。

【関澤】若い人達を中心に、スキー場利用や低放射線量に魅力を感じて定住したい希望もあるようだが、少子化対策としても施策は。



都市計画道路整備方針図

【答弁】住宅の問題と雇用の場の確保が大きな問題である、民間団体と協力して安心して子育てができる町づくりを進めたい、出産手当金も少ないながら実施している。

【関澤】雇用の場の確保として企業誘致と地場産業の振興への施策は。

【答弁】企業立地に関してホームページで適地などの物件、優遇処置を掲載・紹介している。地場産業の振興は庁内でも各種事業に取り組んでいる。今後「道の駅」の整備後は情報の発信基地として地域経済の振興を図って参りたい。

都市計画の在り方

【関澤】当町二地区の都市計画区域の整備状況と工事が始まった、猪苗代中央線の整備状況は。

【答弁】公共下水道計画・都市公園事業はほぼ完了した。街路整備は15路線中2路線とまだ必要と考える。猪苗代中央線の工事了区は今年度舗装工事を行い一部供用開始の予定。

【関澤】3年前に26年完成予定と地権者に説明されたようだが。

【答弁】予定地に相続放棄地があり、弁護士を通して現在交渉中。

【関澤】未整備になっている、他の街路整備計画は。

【答弁】都市計画審議会の承認を得る必要があるために、資料を作成中。

【関澤】都市下水路の小黒川の整備計画はどのような状況か。

【答弁】南部土地区画整理事業の中止に伴い白紙状態だが、河川整備事業、下水道事業と協働して、冠水被害を減らすよう総合的な雨水排水対策を計画する必要があると考えている。



細貝 功人 議員

Q. 学力テスト実施結果の公表は
A. 猪苗代町としては公表しない方針である

全国学力テストの結果と学力向上の取組は

【細貝】実施結果の公表についてどのように考えているか。

【答弁】学力テスト本来の趣旨を重んじ猪苗代町としては、公表しない方針である。

【細貝】町独自の学力向上の方法について、どのように取組んでいるか。

【答弁】町学力向上推進委員会による幼小、中、高連携の授業研究会等を実施している。

【細貝】学力向上推進委員会のメンバーは。

【答弁】各校長、学力向上担当の先生、幼稚園から高校まで入っている。

町からは、教育長、教育総務課長、指導主事が入っている。

【細貝】生きる力をつける教育は。

【答弁】どういうふうに生きるのか、前提をきちんと論議し、共に生きることの力をつけさせたい。

【細貝】学校評価制度との関連性は。

【答弁】学校教育目標の達成状況が評価

の対象となり、知・徳・体のバランスと調和ある発達であり、もちろん関連がある。

空き家等の対策は

【細貝】定住化事業としての実施結果は。

【答弁】昨年7月行政区長に「一般住宅空き家状況」について調査をお願いし、回答率は78%で、空き家、空き店舗の数は186件であった。

【細貝】空き家、空き店舗について活用を図られたか。

【答弁】貸出し又は売却を希望する物件が10件あり、町内不動産業の方と意見交換の場を持ち、方向性を打ち出していきたい。

【細貝】条例制定に関する状況は。

【答弁】全国的に空き家対策については、各自自治体が先行して条例等を整備し、対策に乗り出している。国においても法整備の動きがあることから、町民との合意形成を図りながら引き続き検討していく。



空き家等の対策は

夜間窓口業務の利用状況は

【細貝】平成26年の利用状況は。

【答弁】5月までの利用状況は、5ヶ月間で76件です。

【細貝】少ない利用状況と思うが、廃止等の検討はされているか。

【答弁】毎週一回の実施を例えば隔週にするなど、異動の多い年度末等を実施するなど実施方法の検討を行っている。

【細貝】年末年始やゴールデンウィークに窓口をオープンすることについて協議されているか。

【答弁】役場窓口を利用される皆様方の利便性を考え、協議して参りたい。

教育政策を問う

【佐藤】いじめ防止対策推進法に対しての見解と対策は。

【答弁】国や県、近隣市町村の動向をにらみながら当町の実態をふまえ慎重に対処していく。

【佐藤】教員等の対応は。

【答弁】今までどおりの学校中心の対応ノウハウでやっていく。

【佐藤】道徳が教科になる。町としてはどのような見解のもと対処しているのか。

【答弁】難しい問題が多々あるので国、県、近隣市町村の動向をにらみ慎重に対処していく。

【佐藤】教科になるが教員はどうするか。特に専門教員等の考えは。

【答弁】小学校は教員免許があれば大丈夫。中学校はどのような展開になるか判断しかねる。今の段階では想像がつかず非常に難しい問題。

税収の見通しと医療費の見込み

【佐藤】今後の人口減少や団塊の世代が高齢化する中で当町の税収の見通

しと対策は。

【答弁】人口動向を見ると年々約200人程度の減少が見られ、納税者も減少傾向となり税収についても減少傾向が予測される。なお、地方税の臨時特例法等により少額であるが税収を補うものと考えており今後の税収減を最小に抑えたい。

【佐藤】今後高齢化の進行により医療費の増大が予想されるが。

【答弁】国保については減少傾向にある。一方、後期高齢者医療保険による医療費は増加傾向が続くものと考えている。

道の駅事業の見込み

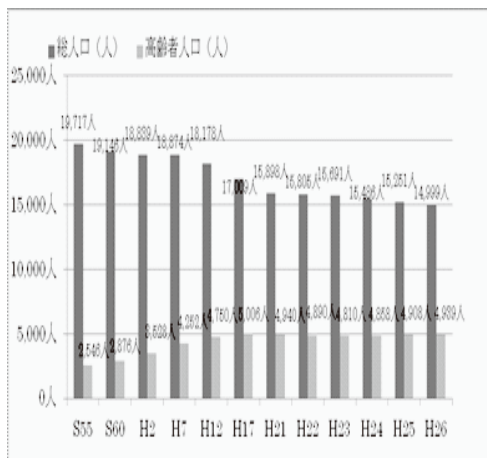
【佐藤】下水道事業における予算の予測は。

【答弁】下水道関係で2億から3億。

【佐藤】全体事業費の見込みはほぼ縮小しない限り20数億円とみるが。

【答弁】今後事業費等については修正することもあるが、現在は10数億円。

【佐藤】(株)道の駅猪苗代の役員選任の根拠と設立が約2ヶ月延長された理由は。



高齢者人口の将来推計

【佐藤】赤字になった場合の対応は。

【答弁】短期的には赤字になることもありますが、黒字赤字ということでは相当年数を頂戴したい。

【佐藤】テナントや雇用はどうなるのか。

【答弁】テナントの導入については、特産物の販売と飲食の部門が考えられ、説明会を実施し、出店・出品希望を募り運営会社が決定する。

雇用は全体的にはつきりしてから。

【佐藤】赤字になった場合の対応は。

【答弁】短期的には赤字になることもありますが、黒字赤字ということでは相当年数を頂戴したい。



佐瀬 真 議員

Q. 土盛り工事の転圧期間は
A. 来春開園に間に合わせるため転圧しない

「川西」ども園」の概要は

【佐瀬】5月に始まった土盛り工事だが
工期はいつまでか。

【答弁】6月中旬に土盛りが終わり、直ぐ
に建物の基礎工事に移る。

【佐瀬】土盛りの後、転圧の処置のため
放置期間を設けるのが、この水田
などの軟弱地盤の工事にはあたり
まえのことだが、転圧処置は行わ
ないと云うことなのか。

【答弁】来春に開園を予定しているので
転圧処置を行わずに建物を建てる
工事に移ることになる。

【佐瀬】この予定地は元は水田なので軟
弱地盤として転圧処置を施さない
と地盤が沈下することが予想でき
る、今の基礎杭を多く打つ工法で
は建物は問題無く建てられるだろ
うが、周囲が沈下したならばどの
ような補修工事をしていくのか。

【答弁】少なからず工事には沈下は考え
られるので状況をみて数年で補修
をしていく。

【佐瀬】地下熱利用空調システムを導入
予定だが、同じ地下水利用の融雪
も予定にあるのだが、予算の無駄

使いにならないよう、水源調査と
工事は一度に済ますことは考えて
いるのか。

【答弁】これからの工事調査となるので
考慮する。

【佐瀬】隣の旧会津バス跡地の購入が決
まっているが、間に流れる「さる
川」にしっかりと蓋をすれば子
ども園の駐車場として使用だと思
う、それにより用地取得面積を少
なく出来たのではないのか、こう
いう一体的な考えを持たないと予
算の無駄遣いになるのではと思わ
れる、さる川にしっかりと蓋を
するのが子ども達への安心にも繋
がるが、蓋は可能なのか。

【答弁】開閉可能グレーチング（側溝の
蓋）を設ければ可能である。



始まった土盛り工事

新設運営会社「道の駅」の内容は

【佐瀬】新たに設けた運営会社の役員の
状況は。

【答弁】社長に町長、副社長に町の識見
者（駅長兼務）、他の役員に副町長、
商工会、JA、議員、銀行、町の
会計管理者。

【佐瀬】議員が入っているが、議長か。

【答弁】議員であるが、町民代表として
入って頂いた。

【佐瀬】これから駅長も含め一般からの
公募は考えているのか。

【答弁】これから、一般公募も含め新役
員会で決めていく。

【佐瀬】建物設計の発注を決めたが、レ
ストラン等おまかな形態しか決
まらないのに設計できるのか。

【答弁】基本設計の平面図の通り。

【佐瀬】道の駅の企画は準備委員会・駅
長・ビジョン・場所・建物の順で
決めるのが普通だが、当町の道の
駅の企画は場所が先で全てが逆の
手順ではないのか。

【答弁】基本理念が道の駅を整備する基
本と考える。

観光客の今後の動向と対応は

【長澤】項目別入込状況は。

【答弁】登山関係、スキー場、猪苗代湖
周辺、観光施設、温泉施設の5つ
に分類でき、磐梯山と安達太良山
の登山、町内のスキー場の来場者
が震災前を上回り回復率が高い。
猪苗代湖周辺は回復傾向にある。

観光施設27.5%、温泉にあつて
は35.7%の減で最も回復が遅い。
【長澤】今後の取組みで重要、重点的な
ものは。

【答弁】教育旅行の戻りが2割程度で、
温泉施設、観光施設の入込に大き
く影響がでている。24年度からの
「県内」の学校行事等に対しバス
費用の一部を助成する「いなわし
る体験活動支援事業」を開始し、
さらに本年度から「県外」の小・
中・高を対象にバス費用の一部を
助成する「猪苗代教育旅行支援事
業」を実施し回復に努めている。
【長澤】観光スポットの整備促進と有効
活用は是非。

【答弁】整備促進については前回の答弁
のとおり実施をしたい。有効活用

教育行政の今後の取組みは

【長澤】損害賠償を得ながら事業を継続
しているが将来的に心配はないか。
【答弁】損害賠償の保障期間は明確に示
されていない。事業者の方が回復
に努め営業することは重要と認識
する。4月末で損害賠償の件数は
3年間で1800件。請求額は78
億4千万円と非常に大きい。行政
と民間が一体となって回復に取り
組まなければならない。

【長澤】課題等に対する取組み状況は。
【答弁】多くの課題があり、第一に学力
の向上、第二が心の教育、第三に
体力の向上。一口に智・徳・体の
調和のある発達ということである。

その取組みで大切なことは、こ
どもを中心として、信頼感を軸と
した学校、家庭、教育委員会、地
域社会の緊密な連携による取組み
である。

【長澤】小・中学校の統合等のスケジュ
ールは。

【答弁】町教育施設適正配置等推進委員
会で議論され昨年3月に町に報告
があった。中学校は平成31年度を
目途に猪中1校に統合すべきとの
提言を受け、校舎建築や耐震補強
等に必要な財源確保が求められて
いる。小学校は現在の6校から3
校に統合すべきとの提言を受けて
おり、現状のままでは複式学級が
発生するので中学校の統合と並行
して、進めていきたい。



整備された亀ヶ城公園

あなたの声を審議しました!!

6月定例会で審議された「請願・陳情」の結果は次のとおりです。

区分	件名	紹介議員氏名	付託委員会	審議結果
	請願者・陳情者の氏名			
請願	福島県最低賃金の引き上げと早期発効を求める意見書提出の請願について	佐藤英一郎	総務	採択
	日本労働組合連合会福島県連合会 耶麻喜多方地区連合会 議長 秋山光晴			
陳情	小黒川が毎年氾濫に関する陳情		経済建設	採択
	矢島光満 ・ 二瓶重雄 ・ 中村ふみ			
陳情	市沢地内道路（市沢林道～町道市沢線）の町道認定による改良に関する陳情について		経済建設	不採択
	市沢区長 遠藤 勇次			

経済建設委員会の不採択の理由

町道ではないが現実的に除雪について対応しており、集落における町道認定の必要性がない。

原案に対しての賛成討論

五十嵐 ミエ子 議員

市沢や達沢など遠い人ほど手厚い支援をしてくれなければならないと思うことから、原案に賛成。

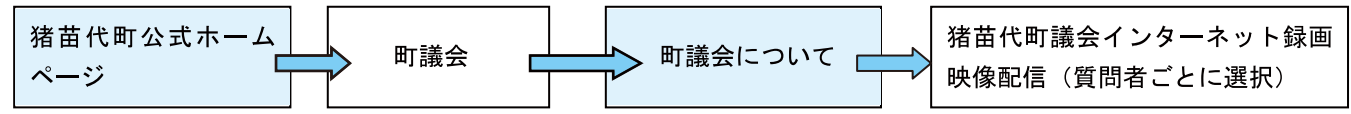


慎重に現地調査を行う委員

【9月定例会への請願・陳情の提出期限は8月22日(金)です。】

インターネット録画映像配信について

一般質問の映像の配信を始めました。映像をご覧いただく場合には下記の手順でご覧ください。この、映像データは猪苗代町議会の公式記録ではありませんが、一般質問開催時の映像データを質問者ごとに見ることができます。



<http://www.town.inawashiro.fukushima.jp/>



五十嵐 ミエ子 議員

Q. バス通学の改善について

A. 遠距離通学緩和のため3台のバスを運行している



スクールバス通学の現状は

【答弁】猪苗代町スクールバス管理規則に基づき、遠距離通学緩和のため吾妻・緑・翁島小学校を対象に3台のバスを運行している。約3キロメートルを超える児童を対象としており、バス利用者は翁島小学校9地区30人・緑小学校6地区22人・吾妻小学校6地区38人・計90人である。

【五十嵐】保護者の声を取り入れて、運行範囲を拡大することは。

【答弁】町全体の学区、通学距離のバランス、歩行による児童の体力向上も視野に入れ公平性を保ちながら運行していきたい。

【五十嵐】バス通学拡大について、教育委員会で話し合ったことは。

【答弁】台数、財政的な負担をクリアしなければならぬ。教育施設の統合を考慮に入れながら拡大について研究したい。

幼稚園の保育料無料化について

【五十嵐】幼稚園の保育料の無料化については。

【答弁】限られた予算の中での早急な実現には難しいものがあることから、国・県に財政支援をお願いしながら保育料の軽減に取り組む。

教育委員会改革について

【五十嵐】教育委員会改革の流れをどう考えているか。

【答弁】今次の「地方教育行政の組織運営に関する法律」の一部改正の要点は、教育委員会の責任の所在の明確化、首長の権限の強化の二点である。町、学校、教育委員会が一体となった教育行政の推進のため全力で取り組む。

こどもたちの利益を守ることを中心に据え、実行ある教育行政の推進のため努力しなければならぬ時期と考える。

【五十嵐】政治指導の教育改革で現場は問題ないか。

【答弁】国もより良い教育を目指している。教育の根幹は、こどもが将来自立につながるために、確かな力をつけさせるのが意図である。共通の理解でこどもたちのために一生懸命やっている。

【五十嵐】教育委員会の改革は良い方向に向かっているのか。

【答弁】改革の要点の一つに教育委員会の組織に教育長と教育委員長を合体させたような新たなかたちでの教育長制度が来年度から実施される。おおむね良い方向に向かっている。



下校時の通学バス

委員会レポート

文教厚生常任委員会

ごみ処理の現状と課題について

町のごみ処理の現状は、家庭系ごみとして、燃やせるごみ、燃やせないごみ、粗大ごみ、資源ごみ、事業系ごみとして、可燃ごみ、不燃ごみ、資源ごみを回収している。本町では、会津若松地方広域市町村圏整備組合環境センターでごみを共同処理しており、課題として、ごみの減量化と処理施設の更新、最終処分場の新たな確保がある。その課題を調査すべく、会津若松地方広域市町村圏整備組合環境センターの現地視察を実施した。ごみ焼却処理施設は老朽化しており、これらの改修計画は、し尿処理施設が平成31年度、ごみ焼却処理施設が平成34年度、リサイクル施設は平成39年度に稼働できるよう建設する。それらは、現有敷地の中で、スクラップアンドビルド方式で建設し、財源は、基金と国の補助、起債、一般財源で、建設費は150億円。

最終処分場は、磐梯町にあり、第1は埋立て終了し、第2もあと6年で終了する。

意見

快適でうるおいのある生活環境を創造するためには、循環型社会を形成していくことが重要である。そのためには、リデュース、リ



リサイクルセンター受入ヤード

ユース、リサイクルの3Rを推進し、最終処分量の削減を図る目的で、町民、事業者、行政が一体となってごみの分別収集に努め、廃棄物の減量や資源の有効活用が図られる循環型社会の形成をめざす取り組みを推進するとしており、生ごみの優良堆肥施設は、今後も実施地区を広めるべきであろう。これから改築される広域施設の経費として基金の積み立てをしているが、関係市町村の負担にならないようにと考えているとのことだが、負担が少なく済ませられるように努力していただきたい。最終処分場もあと6年で埋立て終了となるため間に合うように早急に設けるべきであろう。

総じて、今後、ごみの減量化に努めるべきである。

総務常任委員会

防犯対策（防犯灯の設置状況）について

防犯灯は、各行政区が区域内に設置したものと、猪苗代地区防犯協会連合会の各支部が通学路などに設置したものの2種類があり、設置数は合計1343基。防犯灯の設置については、町消防施設等整備費補助金交付規則に基づき補助金を交付しており、基準額の3分の1以内で、新設の木柱の場合は基準額が4万4千円、新設の鉄柱の場合は5万5千円、照明設備の新設・取替えが3万円となっている。平成25年度の実績は、14の行政区と防犯協会長瀬支部の15地区へ交付している。

街路灯については、町商工業振興事業補助金等の交付等に関する要綱の中の、街路灯の設置事業と維持管理事業に対してそれぞれ補助金を交付している。設置事業は工事費の3分の1以内、維持管理事業には電気料の3分の1以内で町長が定める額を補助金として交付している。平成25年度の実績は、LED電球への切り替え工事等2組合へ交付している。街路灯は3月末現在、783基、26の街路灯組

意見

合により維持管理されており、防犯にも大きく寄与している。なお、猪苗代警察署管内では、平成25年と比べ犯罪発生数が10件少なくなっている。平成25年度の刑法犯罪認知件数は前年に比べ14件減少している。各地区防犯協会連合会の活動が実を結んでいる。

防犯灯や街路灯の器具や電球のLEDへの切り替えを推進し、電気料の軽減を図るとともに、特に通学路等の診断を防犯協会の各支部や行政区が積極的に行い、必要箇所には防犯灯や街路灯を設置し、明るい道路環境で、犯罪を未然に防ぎ、事件・事故の無い、安全・安心なまちづくりに努めていただきたい。



LED防犯灯

議会広報編集特別委員会

福島県町村議会広報研修会

福島県町村議会議長会主催の町村議会広報研修会は去る5月15日、ビックパレットふくしまにおいて開催されました。県内38自治体、約250名の参加のもと講演、広報クリニックスが行なわれました。エディター・俣メディアブレーン代表取締役の吉村潔氏による『伝わる、良くわかる議会広報のために』と題した基調講演がありました。

読者（住民）の共感と支持を得る広報活動のためには、広報誌の編集方針を持ち、主な読者像や紙面のイメージを想定することが必要であること。

読者が参加しやすくなるためには、誰が読んでも何が書いてあるのかわかるように、議会等で決まったことは具体的に説明すること。

少子化、教育関係など、読み手の関心度によりクローズアップし、知りたい情報がある広報誌を目指すこと。また、知りたい情報のためには、議案の賛否表には、どんな議案なのか2行程度の説明が必要であること。



議会広報の編集について学ぶ委員

発行までの時間差を埋めるために、議会の取り組みを伝える特集などをくむことも有効であること。また、議会広報誌のデザイン・レイアウト、広報メディアの連携についても研修しました。その後、会津みさと、とみおか、ならはの議会、だよりクリニックスがあり、それぞれの良い点、悪い点について指導があり、当町の議会だよりとの比較にもなり、大変参考になった研修会でした。

経済建設常任委員会

道の駅事業整備計画の進捗状況について

仮称「道の駅猪苗代」の整備事業推進経過として、平成25年度には、町内の関係団体の構成による設立検討会を開催した。その後発起人会に移行し、会社の基本的事項・定款・出資金の割合等を定め専門部会を設置し、飲食や直売等の運営について検討している。

今後、土木と下水道の実施設計を発注し、土地収用法については事業認定を受けた。開発許可については準備中であり、防災や増水対策については各関係機関と調整中。建築の実施設計を6月上旬に発注できる見込みとなっており、盛土工事の準備として喜多方建設事務所と協議の結果、長瀬川の土の利用が可能となり、これを利用して平成26年度中には造成工事に着手し、平成27年度には造成工事の続々と本体建設工事の発注をし、ある程度の見通しがつけば、道の駅登録申請をすることになる。

意見

震災復興関連の建設工事等も多く、資材や人材不足で工事の遅れが生じないか。

都市計画法の開発許可の関係で降雨時の増水の調節池が必要であり、その規模等も今後協議が必要である。また国道115号線や町道からの進入路についても今後公安委員会との協議も必要であり、分かりやすく入りやすい誘導が出来るか更なる検討をようする。

イベント広場の仕様と用途について計画性を持って整備しないと、冬期間は単に雪のストックヤードになりやすく明確な利用計画が求められる。

物販ブースの事務所や加工室などを作るのかまた地元木材を使つた内装仕様など実施計画の中で検討してほしい。

職員募集については実際の併用開始まで約2年近くあるが、町民の雇用拡大の期待も大きいので、いつから何名雇用するのか計画を示してほしい。

委員会としては今後も整備の進捗状況に応じて調査を継続したい。

町民の声



吾妻地区
國分友子さん

猪苗代町の蝶

春の桜の咲くころ、桜の花
びらより少し大きい「ツマキ
チョウ」この季節にだけ出る、
羽の先にちよつと黄色模様が
入っている蝶。地竹がでるこ
ろは「ウスバシロチョウ」モ
ンシロチョウより少し大きめ
で、羽には燐粉が少なく弱々
しく飛び回ります。それを見
ると、今年ももう、竹の子の
時期だと思いいく取りに行っ
たものでした。それがあの
3・11以来行けなくなり、と
てもとても残念でなりません。
まさか空から悪魔が降ってく
るとは、私の人生の設定には
みじんもありませんでした。
夏になると、国蝶の「オオ

ムラサキ」がダイナミックに
舞います。猪苗代にも結構い
るんだなあと喜んでいました
が、気のせいかな最近あまり数
が見られなくなりました。こ
れも放射能のせいかなと勝手
に思っ悲しんでいます。で
も、カラスアゲハやキアゲハ
はいつもと同じように飛んで
いるのを見るとうれしくなり
ます。近くの山奥に行くと、
アサギマダラがゆうゆう舞っ
ているのを見ると、ちよつと
安心します。

夏から秋にかけて、タテハ
類のクジャクチョウ、ルリタ
テハ、キベリタテハとすばや
く飛び回る蝶がです。

余談ですが、昔、馬糞の上
に蝶が群がっているのを見て
ちよつと夢をそがれたことを
時々思い出します。

秋近くになりますと、セセ
リチョウが稲穂に止まってい
ます。よく見ると目がまん
まるでとてもかわいいます。

放射能も少しずつ、少なく
なっているようです。自慢の
猪苗代が早くもどってくるこ
とを、切に願っています。

傍聴においで下さい

**9月議会は
9月1日(月曜日)
開会予定です。**

【一般質問予定日：4日(木)・5日(金)】

※質問者・質問内容につ
いては9月1日以降に
町のホームページ（議
会事務局）に掲載しま
す。また各公共施設に
チラシを掲示しますの
でご覧ください。

掲
示
施
設
名

- ・役場町民ホール
- ・学びいな
- ・和みいな
- ・カメリーナ
- ・町立猪苗代病院
- ・老人福祉センター
- ・如風庵
- ・まちのえき まるしめ



いなわしろ議会だより第128号が、平成25年度
町村議会広報全国コンクールの、表紙写真部門で奨
励賞を受賞しました。

編集後記

今年の米作りは種まき後、暑い日が
続きハウスの温度管理に追われ、いざ
田植えとなると冬に戻って行くかのよ
うな寒さ、その後は何日も真夏日と目
まぐるしい天気になり振り回された上半期。
定例会（議会）毎に発行しています
この「議会だより」ですが、議長をは
じめ議員7名が編集を分担して自らの
声として携わり、町を知っていただく
情報源として、翌月の発行を目指して
います。

8月には他の町から議会編集委員の
方々が、私どもの「議会だより」を視
察にいらつしやいます。

町の方々だけではなく、全国からも
見られている「議会だより」だとい
うことを念頭に委員全員が真剣に取り組
みこれからも努力いたします。

より良い議会だよりにしていくため
にも皆様のご意見をお聞かせください。

佐瀬 真

議会広報編集特別委員会

委員 長	佐藤 光幸
副委員 長	金本 久美子
委員 佐	瀬 真
委員 細	貝 功
委員 佐	藤 悦夫
委員 佐	藤 英一郎
委員 長	沼澤 一夫